



全長約350mのコンベアが一本に繋がりました

9月下旬から10月上旬にかけて、コンベア工事を行い、三田尻中関港(三田尻地区)から発電所までの燃料を運搬するためのコンベアが一本に繋がりました。

9月25日～27日 県道58号線上のコンベア 夜間取付工事実施

9月25日～27日の夜8時から朝6時の間、三田尻中関港ふ頭から県道58号線に跨るコンベアの取付工事を行いました。道路上での工事のため、交通量が減少する夜間に県道58号線の三田尻大橋から新築地町までを全面通行止めとし、50名以上の作業員で行う大工事でした。



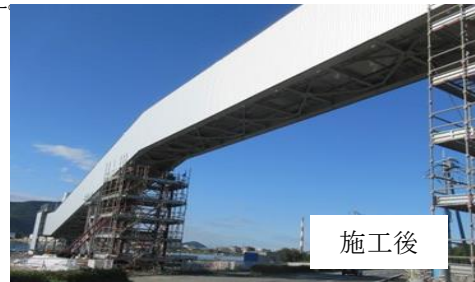
▲高所での取付作業の様子



▲県道を跨ぐコンベアはおおよそ長さ55m、重さ52tと非常に重いため、大型クレーンで吊り上げました



施工前



施工後

10月2日 No.2コンベア取付工事実施



是則倉庫(株)様敷地と発電所敷地を繋ぐコンベアを取り付けました。写真には写っていませんが、送電線下付近くでクレーンによる吊り上げ作業が行われたため、いつも以上に慎重さが求められる工事となりました。

今回繋がったコンベアは内航船で輸送された石炭、PKS(パーム実のヤシ殻)を発電所まで運搬する役割を担います。



A W E P 山口のなるほどクイズ

佐波川



Q 発電所内で1日に使用する水の量は何リットルでしょう？

A

2,000 m³
(25mプール約6個分)

B

9,400 m³
(25mプール約28個分)

発電所ではボイラで大量の蒸気を発生させ、タービンを動かした後、冷却塔で外気と熱交換し、水の状態に戻しボイラ内に送り込み循環運転しています。

その冷却塔で熱交換する媒体として、山口県中部を流れる一級河川 佐波川の豊富な水を使用します。そのため海水の取水、温排水を排水しない構造の冷却塔を当社は使用しています。9月中旬には実際に佐波川の水(工業用水)を発電所内に受け入れる試験を行いました。

正解は・・・B 9,400m³ その内、冷却塔で約9割にあたる8,800m³を消費する計画です。



▲黒色の配管を通して工業用水が運ばれてきます。



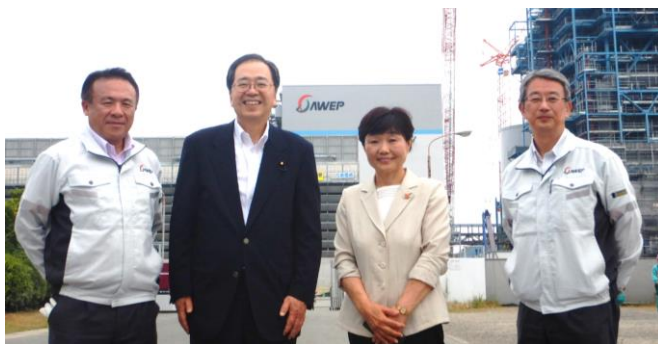
▲運ばれた水は工水受水槽という貯水の建物に一時的に溜められます。



▲工水受水槽から発電所北に位置する冷却塔へ配管を伝って水が運ばれます。

視察ご一行様

▼現場視察の様子



(▲左から 横田所長、斉藤衆議院議員、石丸県議会議員、塩見部長)

8月20日に現場視察のため、斉藤鉄夫衆議院議員、石丸のり子県議会議員が来場されました。石炭バンカやPKSバンカなどの大きなタンクやボイラー棟など興味深くご覧になりました。

地元FMラジオに出演しました

9月19日にFMわっしょいの「水曜ゴゴイチvivaラジオ」にベルトコンベア工事のための県道58号線通行止めの告知をかねて、横田所長、塩見総務部長が出演しました。発電所設立の経緯や、設備の概要説明、火力発電の仕組みなどのインタビューを受けました。



発行元

Vol.7 2018年10月5日発行
エア・ウォーター&エネルギー・パワー山口 株式会社
〒747-0823

山口県防府市鐘紡町3番1号

TEL : 0835-20-1622 (代表)

FAX : 0835-20-1623